

3-1 アンケート調査概要

(3月27日更新)

「地域の暮らしやすさと雰囲気づくり」に関するアンケート：いつまでも住み続けたいと思える地域を形成してため、また、地域とともに過ごしていくという考え方について、アンケート実施対象地域による協力のもと、多摩市と中央大学の共同研究によって基礎データを収集することを目的に実施したものが以下のアンケート調査です。

- ・対象者：東寺方小学区にお住いの 18～69 歳の方の中から無作為抽出された約 3,000 人
- ・アンケート調査期間：令和 2 年 8 月 7 日～8 月 28 日
- ・配布及び回収方法：郵送
- ・有効標本数：540（項目によっては増減有）

個票で尋ねた点は、次のとおりです（算用数字は実際の質問番号に対応しています）。

- 1 回答者の世代
- 2 現在の回答者の就業状況

- 3 現在の居住形態
- 4 家族構成について（家族の人数や世代など）
- 5 現在の居住エリア
- 6 居住年数
- 7 普段の時間（多忙さ）
- 8 災害時など、身近に声をかけあえるご近所づきあいの有無
- 9 家族や親族以外で困ったときに頼れる人が近くにいるかどうか
- 10 地域の様々な活動への興味の有無
- 11 回答者の地域活動参画状況について
- 12 地域活動の必要性について
- 13 地域の活動の担い手不足などの課題解決のためにどのようなことが考えられるか
- 14 地域活動が仕事として整備されたらどうするか
- 15 複雑、多様化する地域課題解決の活動を市民と公共・公益機関（市役所・社会福祉協議会等）でどのように分担すべきか
- 16 エリアミーティングなどお住まいの地域の発展のために住民同士でつながる場があれば参加したいか
- 16-1（質問 16 での一部回答選択者のみが対象）参加に積極的でない理由
- 17 お住まいの地域での生活にどの程度満足していますか
- 18 お住まいの地域で素晴らしいと思える点は（主なものを 3 つまで）

19 お住まいの環境で特に課題と思われることは（主なものを3つまで）

20 お住まいの地域の住民の一体感についてどう思われますか

21 近隣住民間でのつきあい・交流の有無

22 地域の情報を得るために最も役にたっているものを1つ

23 お住まいの地域に近接した以下の公共施設のうち、利用したことがある施設をすべて

質問 1～16 は回答者と家族、質問 17～23 はお住まいの地域に関する。項目である。特に、アンケート調査からも明らかになったとおり、次代の担い手となる現役世代の方々が、「忙しさ」に集約される現代社会の実情という前提のもとで、地域について考えていくことが不可欠になります。

「どのようなしくみがあれば地域をサポートし、同時に地域にサポートされるエリアシステムが構築できるか。」というテーマについて、地域活動を担っておられるリーダー、地域でできることや地域とできることを知っていくことに関心を有する新たな人々とのアイデアから行動につなげていく取組みがなされています。

